

4 番（小川義昭君）

私はやはりせつかく保護者の皆さんからアンケートをとったのですから、そういったアンケートの意向が反映されないのであれば、保護者の皆さんとのそういった統廃合についての協議という場もあってしかるべきかと。その上での答申の採択であればいいのですけれども、その保護者の皆さん方との協議というか、そういったことも私は大事ではないかと思えます。

5 番目の質問に入ります。

平成 24 年 6 月 19 日、市は公立幼稚園の保護者に次の文書を配布しました。

「市は平成 22 年 7 月に検討委員会から「公立幼稚園の統廃合」の提言を受け、統廃合について検討を重ね、公立幼稚園の保護者の皆さんにその経緯をご案内し、統廃合の時期等については、決定次第お知らせすることとしておりましたが、次のとおり市の方針を決定し、6 月 19 日の市議会文教福祉常任委員会に報告したことをお知らせします。

1 方針、1 つ平成 26 年 4 月より現松任西幼稚園敷地内で松任東幼稚園及び松任西の統合幼稚園を開園する。2 つ平成 26 年 3 月末での美川幼稚園の廃止を検討する。

2 今後の事務の流れ、平成 24 年度松任西幼稚園改修工事実施設計、平成 25 年度松任西幼稚園改修工事」という内容の文書であります。

その後、6 月 25 日に市議会全員協議会で我々議員に市執行部から公立幼稚園統廃合の考え方として報告されました。当然、議会への報告は保護者の皆さんが統合の手順などにつき市執行部とも話し合い、十分に納得いただいた上でのものと理解していました。

しかし、私自身が 11 月 3 日に開かれた公立幼稚園の統廃合の説明会に参加し、市の説明員と保護者の皆さんの話のやりとりを伺っていると、市側の説明内容を保護者の方々が十分に理解、納得されておらず、しかも、議会が既に統廃合を承認してしまったように認識をしていました。出席していた私はもちろん否定いたしました。

さらにその後、個別にそれぞれの幼稚園の職員、保護者の御意見を伺っていますと、どうも市は統廃合の方針が出てから 2 年半もたったのに、美川・松任東・松任西の公立幼稚園の職員、保護者に対し、統廃合に向けての話し合いの場が事前に設けられておらず、しっかりとした手順を踏まず、十分な説明、協議もないままに統廃合ありきの方針を一方的に上から目線で強引に推し進めているように感じられたものであります。しかも、公立幼稚園の統廃合は市の方針であり、議会にも報告したから今さら変更は困難であるとの考えを示していることも伺いました。

このような進め方は、市民そして議会を無視したやり方であり、市民参加の開かれた市政からみても、言語道断と言わざるを得ないのではないのでしょうか。

保護者の皆さんも市の財政状況、さらには公立幼稚園の効率的な運営を考えた場合、幼稚園の統廃合は避けられないとして、統廃合そのものには理解を示しております。その証拠に、11月3日に私がいただいた幼稚園統合に関する東幼稚園及び西幼稚園の保護者アンケートでは、約60%の保護者の皆さんが条件つきではありますが賛成しており、美川幼稚園の保護者の皆さんもいずれ廃止はやむを得ないと考えているようであります。

まずは、市執行部は市の幼稚園教育の理念、目標に基づく公立幼稚園の統廃合計画を十分に検討の上策定し、保護者の皆さんに明示し、意見を集約して統廃合を進めるべきではないのでしょうか。このことが「市民参加の開かれた市政」ではないのですか。今回の公立幼稚園の統廃合の進め方は、まさに市民不在の市政・手法と言っても過言ではないと思います。

市長はあり方検討委員会から公立幼稚園統廃合に関する提言を受け、2年半もたっているにもかかわらず、統廃合の方針が保護者に十分に説明、納得されていない事態をどう考えているのか。その間の公立幼稚園の職員や保護者、さらに議会に対する執行部の対応についても、あわせて市長のお考えをお聞かせください。